



発行：東京都公民館連絡協議会

会長：西東京市

職員部会長：小金井市 筈本 孝文

日時：原則毎月第3水曜日

会場：小金井市市公民館本館

メンバー：昭島市（遠藤）・国立市（遠藤）・

町田市（今村）・国分寺市（南波）・

小平市（小山）・狛江市（横山）・

西東京市（山本）・東大和市（富田）・

日野市（佐藤）・福生市（西田）

第6回職員部会報告

1 事務局より

- ・職員部会ニュースコラム担当順

10・11月号 東大和市、西東京市（11月25日締め切り）

12・1月号 昭島市、町田市（1月27日締め切り）

2 協議事項に関して

- ・職員部会研修会の反省

9月13日（水）実施した「公民館としての、魅力ある講座づくりとは」の反省を行った。担当した職員部会委員の感想として、内容が多く、社会教育や公民館という部分についても押さえて話していただいた為、復習を含めとても有意義な話であったという一方で、後半部分の講座の具体的な事例をより多く扱っていただければより良かったというものが多かった。

また、参加者へアンケートを配布しており、集計結果を改めて報告。参加者は44名でアンケートの回収数は32枚。「話が分かりやすかった」「内容が豊富で充実したものであった」という良かった点が挙げられた。一方で、「講師の体験をもう少し詳しく伺いたかった」など具体的な事例や経験を聞きたかったという意見があった。

- ・都公連研究大会課題別集会について

第53回研究大会の様子を確認後、課題別集会の内容について話を行った。

「公民館にとって魅力ある講座とは」というテーマであるが、そ

の中で、“魅力”について、職員や公運審、受講者など立場や各個人によって魅力は変化するため、誰にとっての魅力なのか、何を持ってしての魅力なのか、などを今一度考える必要がある。また、この課題別集會に参加することで、どのような気づきや学びを得てもらうかを明確にする必要がある。

決定する必要事項について、上記などを踏まえ改めて次回の11月15日（水）に開催される職員部会定例会で再度検討することとした。

3 各市からの報告事項

研修部会主催後期初任者向け研修開催の案内（町田市より）



1 事務局より

- ・職員部会ニュースコラム担当順

10・11月号 東大和市、西東京市（11月25日締め切り）

12・1月号 昭島市、町田市（1月27日締め切り）

2 協議事項に関して

- ・都公連研究大会課題別集會について

課題別集會の目的として、「各人が魅力を感じるポイントを知る」ということ。魅力は人によって感じ方が違うため、“これが魅力ある講座だ”と提示することは難しい。そのため、さまざまな立場の人の“講座のこの部分に魅力を感じる”というポイントに気付いてもらうことが目的。

事例発表について、職員部会メンバー（富田・筈本）で行うことを検討。内容として、担当した講座を分析し、担当者（職員）目線で考える魅力を生み出した部分を報告するなど。12月の職員部会定例会にたたき台を提出する予定。

グループワークを行う方向で検討。人数など形態は未定。

注意しなければいけない点として、魅力とは何か（誰にとってか？個人によって違うものではないのか？）ということをもう少し詰め、共有化する必要があるのではと指摘が出た。それを踏まえ、例えば職員部会で「魅力＝〇〇だ」と最初に定義づけし提示した上で課題別集會を進めるか、または、「魅力＝〇〇だ」ということを参加者と一緒

に考えていく、ということで進めるかななどの方向を考える必要がある。

その中で、例えば、当日の流れとしてまずは事例報告発表（2人）→グループワーク（事例報告をもとに、魅力を感じる部分を分析、発表）→助言者による総評および助言者が考える魅力を提示してもらう、といった流れはどうか、という意見が出た。

12月定例会にて、たたき台をもとにした事例報告の内容検討、当日の流れ、助言者に依頼する内容の決定などを行う。

3 各市からの報告事項

各市で実施している事業についての情報提供の依頼（小金井市）

主催講座に関する案内（日野市）



この「職員コラム」は、毎回職員部会のメンバーが交代で記事を書きます。内容は職員部会の様子や各市公民館の行事、お知らせしたい事業などです。今回は東大和市、西東京市が担当です



来年、開館40周年を迎えます！！



蔵敷公民館について

<担当>

とみた やすゆき
富田 泰之

東大和市立
蔵敷公民館

東大和市立蔵敷公民館は、昭和53年11月に開館しました。「蔵敷」と書いて「ぞうしき」と読みます。「くらしき」と読む方がいらつしやると、なぜか心がほっこりします（笑）。

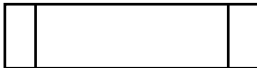
蔵敷という土地は、多摩湖のすぐ南側に位置しています。東大和市は地域によって全く表情が違います。町の南側の地域は新築のマンションや住宅が立ち並び比較的新しい町ですが、蔵敷という地域は自然が多く残っており、かつての町並みや生活風景を思い浮かべることができるところです。

公民館を利用されている方もとても穏やかで、お互いに楽しみながらのびのびと活動をされています。職員にも気軽に声をかけていただき、何気ない会話をとっても楽しんでいます。

そんな蔵敷公民館は、来年11月に開館40周年を迎えます。「公民館」という施設が少しずつ淘汰されている中、40年もの間市民に愛されているということは、とてもすごいことだと思います。これからも末永く愛される公民館であり続けるために、公民館職員として精一杯の努力をしていきたいと思えます。



市民講座の様子



情報共有がもたらす刺激が、モチベーション維持とやる気スイッチが入る瞬間！

という囑託専門員たち24人に支えられている西東京市の6公民館

西東京市 保谷駅前公民館 山本裕美子

毎月第4月曜日は西東京市公民館の唯一の休館日。

しかし、中央館である柳沢公民館へ、休館日にもかかわらず続々と入っていく一団が。実は、月に一度の休館日は、職員が休むための休館日ではなく、分館5館を空っぽにしてもOKな、職員も囑託専門員も全員集まって情報共有ができる貴重な出勤日。6館会議が開催される日なのです。

囑託専門員は、全6館に各4人ずつ配属されていますので、全部で24人。分館には、そのほかに係長級の正職員が分館長として1人配属されているだけです。公民館主催講座も、日々の公民館の利用者や申込者への対応も、すべてこの囑託専門員が企画運営から担っています。

6館会議の資料は、会議次第のほかに、各館から1人ずつ囑託専門員をメンバーに

出している各種担当者会議の会議録。

<ほぼ毎月開催されていて提出される会議録>

- ◆前回の6館会議録（6館持ち回りで嘱託専門員が担当）
- ◆公民館だより編集室会議録（毎月2回開催。そのうち1回は市民スタッフも参加）
- ◆学習支援保育担当専門員担当者会議録（毎月1回開催。嘱託保育員ではなくそれを束ねる専門員）

<毎月ではないが、要所要所で開催されて、開催されたら提出される会議録>

- ◆市民企画事業担当者会議録
- ◆事業評価・事業計画担当者会議録
- ◆障がい者学級担当者会議録
- ◆防災担当者会議録（各館の災害時のマニュアル作成が主な目的）
- ◆団体情報担当者会議録（登録団体の5年毎の更新、登録内容に疑義がある場合や時間区分の検討）

各館の4人の嘱託専門員から、7つの部会の担当者を決めるので、嘱託専門員は、少なくとも1人、1つ～2つは、担当することになります。

各担当者会議では、各館の主催事業の状況のほか、気になること、困っている状況などの情報共有がはかられます。他館の担当者の経験等の情報共有もした上で、今回のケースについては、どのように対処したらよいか、話し合いを進め、一定の方向性をだして、気になること、困っている状況の軽減をはかります。また、嘱託保育員のための年2回の合同研修会も、研修内容から講師交渉まで検討を重ね、保育担当嘱託専門員たちが担当して開催します。必要があれば、要綱の見直しの必要性やそのための要綱改正まで、かなり内容に踏み込んだ話し合いが行われます。

各担当者会議には、少なくとも1人は係長級の正職員も担当正職員として参加します。

各館の主催事業のチラシ・ポスターの交換便でのやり取りから、目を引くデザインや、講座の内容や展開の仕方など、お互いに刺激を受けながら、配架掲示に協力しながら参考にしています。

都公連と学芸大学の連携事業で、社会教育について学びを深める機会も、積極的に、毎年数名ずつ、嘱託専門員が受講しています。

情報共有がもたらす刺激が、モチベーション維持とやる気スイッチが入る瞬間！という嘱託専門員たち24人に支えられている西東京市の公民館6館です。